



第62回全国保育問題研究集会（仙台集会）がいよいよ迫ってまいりました。ここ3年間、私たちは新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきました。しかし、ゴールデンウィーク明けの5月8日（月）からは、法的な行動制限が撤廃されます。乳幼児の命と生活を預かる私たちは油断禁物ですが、全国の仲間との対面交流のチャンネルが再開したことは、実に喜ばしいです。

6月初旬の仙台は、深緑が清々しい、1年のなかでも最も気持ちがいい季節です。会場となる宮城教育大学は東北の教員養成の中核を担う国立大学です。“青葉山”と呼ばれる丘陵の頂上にあり、仙台駅から仙台市営地下鉄東西線で9分、青葉山駅で下車して徒歩6分です。東北大学（薬学部、理学部、工学部、農学部）と共に文教地区を形成しています。開学59周年を迎え、研究棟や教育棟の改修工事が行われています。新装された綺麗なキャンパスに皆さまをお迎えすることができます。集会後には市街に繰り出して、牛タンや三陸の海の幸、東北の至宝とも言える数々の日本酒をご堪能ください。

仙台集会では8つの分散会（乳児保育A、集団づくりA、あそびA、障害児保育A、身体づくり（運動）、身体づくり（食）、父母と共につくる保育内容、異年齢保育）を対面&オンライン配信で実施します。その他、ICT（Internet Communication Tool）を活用しながら、研究集会を運営していきます。東京集会・京都集会を担っていただいた皆さんからのノウハウを活かしながら、集会を成功へと導いていきたいと存じます。

今年度から、中央ではこども家庭庁が創設され、首相が議長を務める子ども未来戦略会議も発足しました。来年は我が国が子どもの権利条約を批准して30周年を迎えます。様々な政策が単なる少子化対策に矮小化されることなく、子どものウェルビーイング（well-being）やダイバーシティ（diversity）、インクルーシブ（inclusive）を保障する取り組みとして実行性を発揮するよう、私たちは声を挙げていかなければなりません。また、ロシアによるウクライナ侵攻や国際情勢悪化に便乗した軍事費拡大が断行されている昨今、保育によって平和をつくり出していく「命の守り手として生きる」矜持を貫いていきたいものです。

東日本大震災から12年、全国の仲間からの温かなご支援を受けながら、私たちは頑張ってきました。皆さまへの感謝の想いを胸に、仙台集会実行委員会は準備と運営にあたります。どうぞよろしくお願ひいたします。

仙台集会実行委員長 佐藤 哲也

開催まで
あと1か月!!



一文字一文字心を込めて…。
題字もできあがりました！

仙台集会参加申込受付中です！お早めに～!!

記念講演の公開収録を行いました！

「震災を語り伝える若者たち」
～きずなFプロジェクト
8年間の軌跡～

講師 せなりた まこと
瀬成田 実さん



震災を伝えたい、命を大切に作る人間として育ててほしいという強い思いで教え子の皆さんと向き合う瀬成田さんが、震災学習を通してつらい体験と向き合い、友だちの存在や大人たちからの賞賛の言葉を支えに成長していく中学生たちの姿をお話して下さいました。後半はプロジェクトメンバーも登壇し、当時の体験や様々な活動に取り組むその思いを聞かしてくれました。

5 / 27 (土)～配信開始です。

おそろいのTシャツを着て仙台集会を盛り上げよう！

仙台集会Tシャツができました♪

¥1,500

仙台の七夕と仙台の木であるケヤキをモチーフに、今抱えているコロナ、戦争、そして東北仙台で行っていく復興への願いを七夕飾りに込めました。未来を支え、幸福な未来に向かってみんなと手をつなぎ前へ進んで行く集会にしたい、という願いもデザインの中には込められています。

カラーはアクアブルーと
アイビーグリーン



サイズ: XXL・XL・L・M・S



バックプリント

東日本大震災 震災遺構 ～あの日を語り継ぐもの～

宮城県内では、あの日の記憶と教訓を伝える震災遺構の整備が進められています。

それまでの生活が一瞬にして失われたあの日、その場所では何が起きたのか。そこはたくさんの命が消え、たくさんの命が救われた場所です。ぜひ多くの方に訪れて頂き、あの時どんな思いであの光景を見つめていたのか、その場所にいた人々に思いを馳せ、我が身に置き換えて考えてほしいと思います。その体験が、命の守り手として私たちは何をすべきか、何を伝えなければならないかを考えるきっかけになること、そして当たり前前の生活がどれほど大切か、皆さんの心に深く刻まれることを願ってやみません。

【宮城県内の主な震災遺構】

- 仙台市立荒浜小学校
- 山元町立中浜小学校
- 石巻市震災遺構大川小学校
- 石巻市震災遺構門脇小学校
- 気仙沼市

東日本大震災遺構・伝承館
(気仙沼向洋高校旧校舎等)



仙台市・深沼海岸の高さ7.2mの
堤防から太平洋を望む

その他に県内には、多くの伝承施設や祈念公園、復興モニュメントなどがあります。

また、あの日の体験や教訓を語り継ぐ語り部の方々のお話には心を揺さぶられ、命の尊さをより深く感じる機会になると思います。

【伝承・語り部の紹介をしている団体】
(公社) 3.11メモリアルネットワーク



仙台集会公式 Twitter